

個人情報の流出の危険性と、 その対策について

家族で
話し合おう

スマートフォンなどのインターネット機器には、さまざまな個人情報が保存されています。そこで必要になってくるのが、セキュリティ対策。しっかりと対策ができていないと、個人情報が流出してしまう可能性があります。

個人情報の流出の原因と、その被害について

個人情報の流出の原因のひとつが、インターネット機器のウイルス感染です。危険なWebサイトを閲覧したり、メールに添付されていたファイルを開封したりすることでインターネット機器がウイルスに感染し、個人情報が流出してしまうことがあります。

また、不正アプリのインストールによって個人情報が流出してしまうこともあります。不正アプリとは、名前やアイコンを人気アプリに似せたり、便利な機能を装ったりしたもので、インストールすると、インターネット機器に保存されている個人情報を抜き取られたり、場合によっては機器を遠隔操作されたりするのです。

このようにして個人情報が流出してしまうと、詐欺目的のメールが送られてきたり、友だちとのやりとりや写真を見られたりする可能性があります。また、自分になりすまされて、ネットショッピングで買い物をされたり、SNSに不適切な書き込みをされたりすることも……。インターネット機器に保存していた他者の連絡先が流出した場合は、自分だけでなく家族や友だちにまでそうした被害が及んでしまう可能性もあります。



個人情報の流出を防ぐためにセキュリティ対策を

個人情報の流出を防ぐためには、以下のような対策を子どもたち自身がおこなうことが必要です。

- ・大事な写真などのデータは機器に保存せず、USBメモリやSDカードなどに保存する
- ・知らないアドレスから送られてきたメールや添付ファイルは開かない
- ・アプリをインストールするときは、公式のアプリストアを利用する。
- ・アプリのインストール時に表示されるアクセス許可の内容を必ず確認し、アプリの内容から考えると必要のない情報へのアクセスを求められたときは、インストールを中止する

こうした対策に加えて、セキュリティソフトを利用すると、個人情報の流出の危険性をより減らすことができます。詳しくは、各携帯会社のホームページや、公式アプリストアをご確認ください。(※セキュリティソフトには有料のものと無料のものがあります。)